

サイクリング × JAL

この道から続く景色へ、 この旅から続く地域へ

エスビーコン
SBCCON™で
サイクルツーリズムを推進する
JALの取り組み

JALグループでは、地域活性化の取り組みの一つとして
自転車輸送用受託手荷物専用ボックス(SBCCON™)を開発しました。
ご旅行先で、ご自身の自転車とともに
サイクリングを楽しむお客さまが増えてきているなか、
ロードバイクを手軽に、そしてより安全に輸送するため製作した
SBCCON™をご紹介します。

サイクルツーリズムを推進し 地域活性化を後押しする

瀬戸内の小さな島々。潮風が香る海の道。無邪気にはしゃぎながら、ロードバイクを素早く組み立てた。ハンドルを握って、ペダルを踏んだ。この道から続く景色へ、この旅から続く地域へ。

2015年から地域活性化プロジェクト「新・JAPAN PROJECT」に取り組むJALは、サイクリストの聖地しまなみ海道において「自転車・手荷物輸送サービス」で実績のある一般社団法人せとうち観光推進機構と、合同会社S1WORKSとともに、飛行機でロードバイクを輸送するための専用ボックス「エスビーコン」を開発しました。名前の由来は「Smart Bicycle Container」の頭文字を取ったもの。ロードバイクを短時間で梱包し、安全に目的地へ運ぶことができます。全国各地でサイクリングイベントが盛り上がりを見せるなか、サイクリングを楽しむお客さまをさまざまな地域へお運びし、交流人口を増加させることで、地域活性化につなげていきます。

頑丈さと手軽さを両立させた ロードバイクの空の旅

SBCCON™開発の経緯は、「大切な愛車を飛行機の貨物室に預けると壊れてしまうのではないかな」というお客さまの声に端を発します。そこで生まれたのが、繊細なロードバイクを飛行中の急な揺れなどから守るための専用ボックスSBCCON™です。素材にプラスチック製の段ボールを使用することで強度を高めるだけでなく、軽量化も実現しました。輸送中の揺れや衝撃を吸収するため、内部には厚手のスポンジを敷き詰めています。

ロードバイクの前輪を外し、ペダルや車体、後輪を台座に設置するだけで梱包完了。ハンドルやシートは基本的にそのまま収納できます。より本格的に



細かく分解しなくても前輪を外すだけで梱包が可能。短時間でまとめることができます

サイクリングを楽しむお客さまにもご利用いただけるよう、ディスクブレーキにも対応しています。これまででは、ロードバイクを細かく分解し、自転車用の袋に収納してからお預けいただけでしたが、これらの手間や時間、そして破損のリスクを減らすことで、JALは自転車を愛好されているお客さまに快適な空の旅を提供していきます。

SBCCON™の本格的な導入へ

2018年6月には「自転車活用推進計画」を政府が閣議決定するなど、サイクルツーリズムによる観光立国の実現が注目されてきています。

こうした動きに合わせて、JALでは、同年8月に2泊3日の「しまなみ海道モニターツアー」を実施。そこで得られた輸送手段などの改良点を踏まえ、本格的な運用を目指しています。

さあ、全国はまだ見ぬ景色へ。JALはサイクルツーリズムを通じた地域活性化と交流人口の拡大を今後も応援していきます。



カーゴスペースに入れて輸送するため、破損のリスクを減らせます